

抗議文

5月8日の米原子力潜水艦ヒューストンの横須賀入港に強く抗議する。現在、横須賀基地には、原子力空母GWが滞在している。横須賀に原子力艦船の原子炉が3基存在する異常事態である。原子力潜水艦ヒューストン・原子力空母ジョージ・ワシントンは、ただちに横須賀港から出て行くこと強く要求する。

米海軍第7艦隊司令官 ロバート・トーマス少将 殿
在日米海軍司令官 マッシュ・カーター少将 殿
米海軍横須賀基地司令官 デービット・グレニスター大佐 殿

神奈川県労働組合総連合
新日本婦人の会神奈川県本部
神奈川県商工団体連合会
神奈川県平和委員会
安保廃棄神奈川県統一促進会議
原子力空母の母港化を阻止する三浦半島連絡会
原水爆禁止神奈川県協議会

5月8日午前9時55分、ロサンゼルス級原子力潜水艦ヒューストンが横須賀基地に入港した。原子力潜水艦の入港は今年7回目で、原子力艦の入港は、通算903回となった。現在、原子力空母ジョージワシントンが定期修理で滞在しており、原潜ヒューストンの入港で、横須賀基地には、原子力艦船2隻、原子炉3基が存在する異常な事態となっている。

原潜ヒューストンは、2007年1月にペルシャ湾で衝突事故も起こしたり、放射能漏れ事故を起こし2年以上も隠し続けて2008年8月に発覚したりするなどの前歴を持っている。このように原潜ヒューストンの横須賀入港に強く抗議する。

「戦争はしない」と決めた憲法9条を持つ日本で、戦争のための軍艦が入出港を繰り返している。これは、米軍が東アジアでの軍事行動を強化していることを意味し、アジア・太平洋の平和と安全にとって大きな害悪をもたらしている。米軍艦船による東アジア・太平洋での日米共同演習などの軍事演習は昨年を見ても増えている。東アジアでの軍事演習をただちにやめることを要求する。

福島原発事故から4年が過ぎた。未だ12万人が避難生活を余儀なくされ、放射能被害に苦しめられている。首都圏や横須賀基地を含む三浦半島で巨大地震の発生確率が高まり巨大地震による原子力艦船の原子炉事故の可能性が増大している。米軍は、原子力艦船の「安全神話」を押しつけ、まともな地震や津波に対する対策を講じようとしていない。このように県民要求に答えず原子力艦船の横須賀入出港をくり返すことは断じて許されない。原子力艦船の原子炉事故対策について明らかにすることを強く要求する。

米原潜の核兵器搭載、核持ち込みも重大である。核密約によって核兵器が横須賀に持ち込まれていたことはすでに明らかになっている。原潜ヒューストンは、「確認証原潜」である。核兵器は積んでいないことを証明すると同時に、核密約はただちに破棄することを要求する。

横須賀基地は原子力艦船の母港でない。原子力潜水艦ヒューストンは、ただちに横須賀から出て行くこと。原子力空母ジョージ・ワシントンの「定期修理」は中止し、本国にただに帰国すること。さらに、原子力空母ロナルド・レーガンへの交代はやめこと。

以上を強く要求する。